ともに読むための読書ハンドブック

ともに読む準備

このハンドブックはPaul Haedoの読者のために独自に書かれた編集資料です。書籍の抜粋を含まず、著者本人の見解として提示するものでもありません。

無理のない範囲を選ぶ

本、読む範囲、会合の長さを決めましょう。実りある対話のために一冊全部を読む必要はありません。内容の発見について話し始める前に、範囲を明確にしてください。

答えではなく問いを持つ

読む前に、物語の前提や形式のどこに興味があるかを考えましょう。探究したい問いを一つ書きます。作品によって最初の期待が変わる余地を残してください。

サイトを読書の補助に使う

書籍ページでは作品と入手可能な版を確認できます。導入ガイドはテーマと問いを示します。言葉、物語、議論そのものは原作を読んでください。ガイドはその代わりではありません。

現在のガイドを見る：https://paulhaedo.com/ja/explore/

異なる意見を認める対話

気づきから始める

参加者それぞれに、気づいたことを話してもらいましょう。本文についての観察と、その解釈を区別します。作品全体への評価を述べる必要はありません。

解釈の根拠を尋ねる

読み方が異なるときは、作品のどの特徴がそれぞれの見方を支えるかを尋ねましょう。公開ワークシートに転載せずに、場面や箇所を指し示すことはできます。一人の解釈を著者の表明した意図とみなしてはいけません。

なじみのないものを受け入れる余地

登場人物、語り手、架空の組織は、著者とは異なる見解を述べる場合があります。The Word of EraとEranianismは悪役と抑圧的な文明を探究する架空の宗教設定であり、その苛烈な見解はPaul Haedo個人の信条ではありません。

問いで終える

考え直したい点や別の作品とのつながりを挙げて終えましょう。答えの出ない問いも有益な成果になり得ます。同意、個人的経験の開示、合意した読書範囲を越えることを参加者に強いないでください。

内容の明かし方に配慮して進行する

会合の前に

原作、必要に応じて版、合意した読書範囲、内容を明かす際の方針を示します。利用しやすい形式を共有し、質問への回答を見送ってよいと伝えましょう。

会合の途中で

短い導入の順番を設け、その本に合う問いを二つか三つ使いましょう。前提に関する議論と、後の展開を区別します。合意した範囲を越えたらいったん止めてください。

会合の後に

グループが改めて考えたい問いを記録します。長い文章を写すのではなく自分の言葉で短く記しましょう。私的な読書メモや他の参加者の発言を許可なく公開しないでください。

簡単な進行案

導入：一人一つの気づき。議論：二つの解釈とその根拠を比べる。結び：次の読書に向けた問いを一つ。この案を規則とせず、グループに合わせて配分を変えましょう。

役に立つ読書記録を残す

読む前に

その作品に惹かれた理由、前提が生む問い、形式から抱いた期待を記録しましょう。

合意した範囲を読んだ後に

理解がどう変わったか、どんな問いが残るか、何を読み返したいかを記録します。重要な展開を明かしかねないメモには注意を付けましょう。

出典と不確実さ

実際に読んだ題名と版を書いてください。サイトのガイドは著者提供の版を参照する場合があります。相違があれば、同一の版だと決めつけず、確認すべき点を特定してください。

読書会ガイド：https://paulhaedo.com/ja/book-clubs/

編集方針：https://paulhaedo.com/ja/editorial-policy/